

研究公正高度化モデル開発支援事業における事後評価結果（令和元年度開始～令和 3 年度終了課題）を公表します。

事後評価の目的

研究開発課題等について、実施状況、成果等を明らかにし、今後の展開及び実用化に向けた指導・助言等を実施することを目的としました。

課題評価委員会

開催日：令和 3 年 12 月 9 日

課題評価委員一覧

氏名（敬称略）	所属機関・職名（当時）
浅島 誠	帝京大学 特任教授
片倉 啓雄	関西大学化学生命工学部 教授
新谷 由紀子	筑波大学 利益相反・輸出管理マネジメント室 教授
吉田 雅幸（委員長）	東京医科歯科大学生命倫理研究センター長 教授

（氏名 50 音順に記載）

評価項目

1. 研究開発達成状況について
2. 研究開発成果について
3. 実施体制
4. 今後の見通し
5. 総合評価

対象課題

プログラム①：研究倫理教育に関するモデル教材・プログラムの開発

研究開発課題名	所属機関	代表者
医生命科学系学会の学会員研究倫理素養の均てん化に向けた学修機会の提供	信州大学 特任教授	市川 家國
倫理審査委員会にかかわる人材育成のための統合的プログラムの開発	東京医科歯科大学 講師	江花 有亮
学際的アプローチによる研究倫理教育のモデル評価プログラムの開発と検証	京都府立医科大学 教授	瀬戸山 晃一
医療分野における研究倫理教育教材の総合的活用プログラムの開発	国立がん研究センター 部長	松井 健志
臨床研究トレーニングに組み入れ可能な能動的な研究倫理学習プログラムの開発	兵庫医科大学 教授	森本 剛

（代表者 50 音順に記載）

プログラム②：研究公正の取組み強化のための調査研究

研究公正の推進に資する質問紙調査の活用に関する研究	大阪大学 教授	中村 征樹
研究機関の研究支援ガイドラインの構築に関する国際調査研究	信州大学 助教（特定雇用）	野内 玲

（代表者 50 音順に記載）

評価結果の概要

総合評価の結果は、計画を超えて大変進捗が 2 件、計画を超えて進捗が 3 件、計画どおりに進捗が 2 件であった。

以上